

阿波市全庁評価シート 令和元年度実施事業対象

PLAN	No.	8	1	基本事務事業名	出産祝金支給事業	事務事業名	出産祝金支給事業	公的関与	9	シート作成日	令和2年7月16日	
	部局名	市民部		課名	市民課	主務課長名	野崎 順子	シート作成者名	古本 美穂			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)	1. やさしく健やかな阿波		実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(2) 子育て支援の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策	(1) 多様な子育て支援施策の推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	阿波市出産祝金支給に関する条例				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	出産祝金支給対象者(出産の日において、申請者(父または母)と新生児が阿波市に居住しており、かつ、出産の日後6箇月以上申請者と新生児が阿波市に居住)									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	出産を祝福し、新生児の健やかな成長を願うとともに、本市の活性化に繋げることを目的とします。								
			今年度	制度周知に努め、子育て支援充実の一助となる支援として、長期的に継続していきます。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 支給対象者に対し、申請により祝金を支給します。											
	② 長期・継続的な視点での子育て支援・定住支援等に取り組んでいきます。											
	③ 祝金制度の広報につとめます。											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標				
	支給件数	目標設定になじまないため実績のみ記載		目標								
				実績		174	135					
					目標							
					実績							
					目標							
				実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費		
			平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考						
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円						
		県支出金		千円	千円	千円						
		地方債		千円	千円	千円						
		その他特定財源		千円	千円	千円						
		一般財源		10,380 千円	9,000 千円	6,860 千円						
		計(A)		10,380 千円	9,000 千円	6,860 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.063 人	366 千円	0.063 人	380 千円	0.063 人	385 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)			10,746 千円	9,380 千円	7,245 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価			
KGMIC	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	制度の市民ニーズは高いものがあります。一方、子育て世代へのアンケート結果である長期的な子育て支援の充実にこたえるべく、支給要件の緩和・支給金額の改正を令和2年度から施行しています。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	出産費用が高額になるなか、経済的に子育てを支援する手段として有効です。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	該当者からは、喜ばれています。令和2年度からは、市民ニーズに応え、支給要件の緩和や金額の改正を実施し、関係課と連携した長期・継続的な支援を行います。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない					<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している					<input type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	母子手帳交付時にパンフレットを配布するとともに、出生届受理の際に申請受付をしているため、事務効率性は良い状況です。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価										
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価					
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A					
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等						
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止							
	当面の課題	令和2年度からは、改正された支給要件・金額にて運用しています。一時的な支援だけにならぬように、子育て支援・若年層の定住促進について、関係各課とさらなる連携が必要と思います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点									
改革案と実行計画	関係課と連携し、広報・周知につとめ、本制度についての理解を広めることで、本制度の目的である子育て支援・若年層の定住を推進します。					令和2年度から施行されている改正後の支給要件緩和や金額変更は、令和元年度の1年間をかけて市民への周知に努めたこと、また、新規事業として教育委員会の長期継続的な子育て支援策を元年度から先行実施できたことから、市民の理解を得られ、混乱なく改正後の制度運用に至っています。今後においても、若年層や子育て世代に重点を置き、移住や定住につながる施策を検討、推進します。										
委員会指摘事項																